

貸借対照表

令和 8 年 4 月 30 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 ・ 預 金	49,355,505	55,522,100	△6,166,595
流 動 資 産 合 計	49,355,505	55,522,100	△6,166,595
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
投 資 有 価 証 券		324,556,636	△324,556,636
基 本 財 産 合 計	0	324,556,636	△324,556,636
(2) そ の 他 固 定 資 産			
投 資 有 価 証 券	343,411,676		343,411,676
そ の 他 固 定 資 産 合 計	343,411,676	0	343,411,676
固 定 資 産 合 計	343,411,676	324,556,636	18,855,040
資 産 合 計	392,767,181	380,078,736	12,688,445
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
預 り 金	4,590	3,468	1,122
流 動 負 債 合 計	4,590	3,468	1,122
負 債 合 計	4,590	3,468	1,122
III 正 味 財 産 の 部			
1 一 般 正 味 財 産	392,762,591	380,075,268	12,687,323
(内基本財産への充当額)	(0)	(324,556,636)	(△324,556,636)
正 味 財 産 合 計	392,762,591	380,075,268	12,687,323
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	392,767,181	380,078,736	12,688,445

正味財産増減計算書

令和 7 年 5 月 1 日から 令和 8 年 4 月 30 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(0)	(23,051,470)	(Δ23,051,470)
基本財産受取利息		23,051,470	Δ23,051,470
② 雑収益	(22,357,812)	(0)	(22,357,812)
受取利息	22,357,812		22,357,812
経常収益計	22,357,812	23,051,470	Δ693,658
(2) 経常費用			
① 事業費用			
事業経費	(3,315,230)	(2,395,470)	(919,760)
通信運搬費	28,760	22,690	6,070
消耗品費		63,800	Δ63,800
賃借料	18,970		18,970
支払助成金	3,267,500	2,007,000	1,260,500
支払寄付金		300,000	Δ300,000
支払手数料		1,980	Δ1,980
事業費計	3,315,230	2,395,470	919,760
② 管理費			
会議費	87,290	88,352	Δ1,062
旅費交通費	570,000	680,000	Δ110,000
諸謝金		12,760	Δ12,760
租税公課	3,420,674	3,560,673	Δ139,999
雑費		490	Δ490
支払手数料	186,604	1,320	185,284
支払報酬	2,090,691	1,950,367	140,324
管理費計	6,355,259	6,293,962	61,297
経常費用計	9,670,489	8,689,432	981,057
評価損益等調整前当期経常増減額	12,687,323	14,362,038	Δ1,674,715
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	12,687,323	14,362,038	Δ1,674,715
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	12,687,323	14,362,038	Δ1,674,715
税引前当期一般正味財産増減額	12,687,323	14,362,038	Δ1,674,715
当期一般正味財産増減額	12,687,323	14,362,038	Δ1,674,715

(単位：円)

科	目	当 年 度	前 年 度	増 減
	一般正味財産期首残高	380,075,268	365,713,230	14,362,038
	一般正味財産期末残高	392,762,591	380,075,268	12,687,323
II	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
III	正味財産期末残高	392,762,591	380,075,268	12,687,323

収 支 計 算 書

令和 7 年 5 月 1 日から 令和 8 年 4 月 30 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 雑収益	(23,051,470)	(22,357,812)	(693,658)	
受取利息	23,051,470	22,357,812	693,658	
経常収益計	23,051,470	22,357,812	693,658	
(2) 経常費用				
① 事業費用				
事業経費	(3,172,408)	(3,315,230)	(Δ142,822)	
通信運搬費	23,608	28,760	Δ5,152	
消耗品費	63,800		63,800	
賃借料		18,970	Δ18,970	
支払助成金	2,907,000	3,267,500	Δ360,500	
事業費・他経費	178,000		178,000	
事業費計	3,172,408	3,315,230	Δ142,822	
② 管理費用				
会議費	132,441	87,290	45,151	
旅費交通費	210,000	570,000	Δ360,000	
租税公課	3,560,673	3,420,674	139,999	
登記代	35,970		35,970	
支払手数料		186,604	Δ186,604	
支払報酬		2,090,691	Δ2,090,691	
管理費計	3,939,084	6,355,259	Δ2,416,175	
経常費用計	7,111,492	9,670,489	Δ2,558,997	
評価損益等調整前当期経常増減額	15,939,978	12,687,323	3,252,655	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	15,939,978	12,687,323	3,252,655	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	15,939,978	12,687,323	3,252,655	
税引前当期一般正味財産増減額	15,939,978	12,687,323	3,252,655	
当期一般正味財産増減額	15,939,978	12,687,323	3,252,655	
一般正味財産期首残高	0	380,075,268	Δ380,075,268	
一般正味財産期末残高	15,939,978	392,762,591	Δ376,822,613	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	

(単位：円)

科	目	予 算 額	決 算 額	差 異	備考
	指定正味財産期首残高	0	0	0	
	指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ	正味財産期末残高	15,939,978	392,762,591	Δ376,822,613	

財 産 目 録

令和 8 年 4 月 30 日 現在

(単位：円)

科 目	場 所 等	物 量	使用目的等	金 額
I 資 産 の 部				
1 流 動 資 産				
現金・預金	現金			756,059
現普通預金	三菱UFJ銀行/香里支店/普通			48,599,446
流動資産合計				49,355,505
2 固 定 資 産				
(1)その他固定資産				
投資有価証券	パークレイズ劣後債 外国債券 大和MMF 外国投資信託			305,052,034
		24,896,073口		38,359,642
その他固定資産合計				343,411,676
固定資産合計				343,411,676
資 産 合 計				392,767,181
II 負 債 の 部				
1 流 動 負 債				
預り金	報酬源泉税			4,590
流動負債合計				4,590
負 債 合 計				4,590
正 味 財 産				392,762,591

監査報告書

令和 8 年 6 月 2 日

令和7年5月1日から令和8年4月30日までの、事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該事業年度に係る貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録（以下、財務諸表等という）について検討いたしました。

2. 監査の結果

財務諸表等は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監事 林 武



大津 幸也